

Hm²助成支援団体のご紹介

大塚未来会議～大塚シンボル通りづくりプロジェクトチーム

チームリーダー 谷由美子さん

▼ 植栽作業後のメンバー



大塚未来会議～大塚シンボル通りづくりプロジェクトチームは、広島市安佐南区大塚上町内会が平成17年に立ち上げた、まちづくり組織「大塚未来会議」のプロジェクトチームのひとつで、平成22年8月から活動を始めました。

「このプロジェクトは、西風新都中央線と沿道の魅力づくりを、地域住民と広島市立大学の学生・教職員、サンフレッチェ広島等が連携して行い、草花とアート、そして真心を感じる魅力溢れる『通り』にすることをテーマにしています」とプロジェクトチームのリーダー谷由美子さんは語ります。

地域交流の拡大でまちづくりを持続する

発足後は、まず、サンフレッチェ広島にちなんだ通りづくりを行うことを決めて、西風新都中央線の歩道の植え込みスペースを活用した花の植栽作業を、定期的に行っています。4月28日には、プロジェクトのメンバー、広島市、広島市立大学、広島修道大学等近隣から総勢100名近い方の協力で、サッカーの試合で行われるウェーブにちなみ、紫の花の苗を波型に植栽しました。

その後は、定期的にプロジェクトメンバーの中心でもある地域住民が植え込みの維持管理を行っています。今後は、手づくりの紫の旗の取り付けを行ったり、オブジェの設置を予定しています。

「これまでも、地域交流を促進する事業を行ってきました。プロジェクトチームとしては月1回の交流ですが、昔から大塚に住んでいる人も新しく大塚に住み始めた人も一緒に汗を流すことで、お互いに親睦を深めて少しずつではありますが、小さな地域住民同士の交流も生まれてきています。これからは、ふむふむの助成金等を活用して、ひろしま西風新都のイメージアップ、地域住民を中心に、主体的かつ持続的なまちづくり活動を、プロジェクトが作成したプログラムに沿って行っていきます。それが、自分たちのまちは、自分たちで守り育てていく、と言う地域住民のまちづくり意識・参加意欲の高揚に繋がる。さらには、大塚以外に住む市民の方々に、もっと大塚に広く興味を持ってもらえるキッカケになればと思います」と、谷さんはプロジェクトへの思いを語ってくれました。

広島文化台風実行委員会

代表 東 琢磨さん

7月14日・15日広島女学院大学で開催された「カルチュラル・タイフーン2012 広島」



広島文化台風実行委員会は、広島市内の施設を利用してアーティストと社会活動や大学を結びつけることでアーティストと市民の文化交流を図ることを目的に結成した団体です。

活動は広島市内の映画館、ひろしま国際センター、広島女学院大学を拠点に市内の大小アートギャラリー、商店街とも連携を組んで行っています。

新たな文化創造のステージを作りたい!

平成23年5月、広島出身者や、広島を拠点に活動している演劇、音楽、映画、美術などあらゆるジャンルのアーティストや大学関係者約20名で発足しました。平成23年は毎週1回定期ミーティングを行い、「ヒロシマ平和映画祭2011」などのイベントの企画・運営に携わってきました。活動を通して、地元や世界各地で活動している人たちの、より自律的な交流が必要なのではないか。大学研究者、アーティスト、学生らが一度に会って交流する形態を広島でも日常化したい。さらには、ローカルに足をつけながらも、地域、ジャンル、立場などの境界を

越えて交流を図り、新しい文化創造のステージを作りたいと考えました。

広島では、初となる「カルチュラル・タイフーン」を7

月14日・15日に開催しました。この「カルチュラル・タイフーン」とは、既存の学会やシンポジウム形式に捉われず、参加者がフラットな関係で、発表と対話をおこなう文化イベントです。開催日前後1週間は「広島文化台風週間」と位置づけて、アートスペース、映画館、大学施設、公共施設で展示、パフォーマンス、音楽ライブ、映像上映などが行われました。「今後は、今まで培った交流を活かしながら、秋以降の活動を模索していきます。将来的には、広島を拠点に、より活発な活動を展開していける人材、そうした人々をバックアップする人材育成や仕組みの強化に取り組みれば、と考えています」と東琢磨さんは、思いを語ってくれました。

第10回

Hm²助成団体 決定!



▲ 第10回助成事業公開審査会

平成24年5月12日(土)、(財)広島市未来都創造財団ひと・まちネットワーク部では、まちづくり市民交流プラザにて、公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」第10回助成事業の公開審査会を行いました。

今回の助成事業には、38団体(団体育成助成部門10団体、まちづくり活動発展助成部門26団体、まちづくり施設整備助成分野2団体)からの応募がありました。このうち、団体育成部門は書類選考で10団体を決定し、発展部門は15団体、施設整備助成分野は2団体が書類審査を通過後、公開審査会に臨み創意工夫を凝らしたプレゼンテーションを行い、審査結果は左下表のとおりです。

今後、助成団体による活動状況についての中間発表会を開催します。どなたでもご覧いただけます。

【中間発表会】

- 日時：10月27日(土) 午後1時～4時半(予定)
- 場所：まちづくり市民交流プラザ北棟ギャラリー



団体育成助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
安花の会	花いっぱい運動	2.9万円
若&姫の会	団塊世代を中心にした住民相互のより強い絆づくりと共助社会の形成	3.9万円
一般社団法人安佐いきいきクラブ	シニアいきいき教室	4万円
大塚未来会議大塚シンボル通りづくりプロジェクトチーム	大塚シンボル通りづくりプロジェクト～地域住民と大学等のコラボによる魅力づくり～	4.5万円
ケ・サラ	生き生き人生	4.1万円
さきふれ愛グループ	高齢者が高齢者を支援するまちづくり	4.1万円
戸坂ウォーク実行委員会	第1回 手仕事と雑貨ストリート「戸坂ウォーク」	4.4万円
読み聞かせボランティア「あさがおの会」	地域と一体となった読み聞かせ会	3.8万円
農・食・医 同源研究センター	老若男女が集う料理教室/あなたとわたしが作る人・食べる人	4.6万円
輝く命のプロジェクト	“わたしの人生の主人公はわたし”で、よかったんだよね♡	4.8万円
計 10 団体		41.1万円

まちづくり活動発展助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
ファッションセラピーの会	おしゃれに関するふれあい教室(出張も含む)&第4回へアール&ふれあいファッションショー	30万円
特定非営利活動法人 夢の広場ようこそ	「ようこそ」5周年5・5・50(ゴ・ゴ・ゴ) 白木町に障害者施設を!	37万円
藤の木学区まちづくり推進協議会	団地東側のり面 花いっぱい運動	40万円
さんらいず	人と人の心をつなぐ/さんさんキャンプ	30万円
牛田の歴史と文化を生かしたまちづくりの会	牛田むかし話 ジャンボ紙芝居公演	23万円
広島さらさら母交響楽団	子育て支援型オーケストラ)音楽でつなぐ絆	40万円
待つとる間に鶴折る会・ヒロシマ	みんなで平和について考えるまちづくり	14万円
ふるさと祇園まちづくりの会	緑・土と共生するプロジェクト	20万円
ひろしまジーン大学	地域共生型ネットワーク社会創出～green ground market～	33万円
広島文化台風実行委員会	広島文化台風	33万円
計 10 団体		300万円

施設整備助成分野

団体名	活動企画案内	助成金額
下向神楽団	神楽殿改修による神楽の継承とふれあいの場づくり	100万円
基町地区社会福祉協議会	(地域の活字文化の醸成と多文化共生の促進による基町の活性化をめざす)「もともち文庫」の創設と基幹事業の展開	250万円
計 2 団体		350万円

基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。「ひと」と「まち、をつなぎ、広島、の「未来、を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ、と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

(財)広島市未来都市創造財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行います。

詳細については、(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では趣旨に賛同いただいた多くの皆さまからの寄付を随時受け付けております。

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

